

愛知県感染症情報

平成 1 1 年 第 2 5 週 (6 月 第 4 週)

(コメント)

手足口病の報告数は、定点あたり前週の 2.6 人から 3.9 人 (432 人 / 112 定点) になりました。

ヘルパンギーナの報告数は、定点あたり前週の 1.9 人から 3.6 人 (401 人 / 112 定点) になりました。

(先生方からのコメント)

- ・ 手足口病、感染性胃腸炎は減ってきました。
(西尾市 やすい小児科)
- ・ 今週は手足口病が特に目立ちました。
(西尾市 山岸クリニック)
- ・ 溶連菌感染症散発
手足口病、ヘルパンギーナは一時流行のきざしと思われましたが、現在はそれほどではないようです。
(尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院)
- ・ 手足口病とヘルパンギーナが流行中。
(豊橋市 こどもの国大谷小児科)
- ・ 水痘の姉妹例 2 人とも他院でワクチン済み、軽症でしたが。
(豊橋市 富田小児科)
- ・ ヘルパンギーナが急増しました。
(立田村 谷本医院)
- ・ 手足口病大流行中。
アデノチェック陽性の扁桃炎あり。
(岡崎市 花田こどもクリニック)
- ・ 3 才男 異型肺炎。
(岡崎市 医療法人深田小児科)
- ・ 2 才女児 カンピロバクター。
(岡崎市 にいのみ小児科)

- ・ 3才 SSSS ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群。
5ヵ月 サルモネラ菌 O4 群。
4才、5才 病原性大腸菌 O6 群 (VT1,2(-))。
(幸田町 とみた小児科)
- ・ 感染性胃腸炎で発熱を伴っている者のうち 7名に糞便アデノウイルス抗原陽性でした。男子 8ヵ月、1才、3才 各1名
女子 6ヵ月、3才、15才、36才 各1名
(尾西市 城後小児科)
- ・ 流行性角結膜炎の 30代男女は夫婦、家族内感染とみられる。
(一宮市 ふなはし眼科)
- ・ 水痘、ヘルパンギーナの流行が続いています。
嘔吐を伴う胃腸カゼが流行しています。
(春日井市 かちがわ北病院)
- ・ 4才(男)水痘症(平成10年水痘ワクチン接種してあります)。
(小牧市 医療法人心正会鈴木小児科)
- ・ ヘルパンギーナが急増しました。
(小牧市 志水こどもクリニック)
- ・ 19日発病の 32才の男性 病原大腸菌 ETEC(O25) 検出されました。
(春日町 丹羽医院)
- ・ ヘルパンギーナ、溶連菌多し。
(岩倉市 なかよしこどもクリニック)
- ・ 溶連菌感染症、水痘が流行しています。ヘルパンギーナが見られるようになりました。
(江南市 みやぐちこどもクリニック)

(1~3類感染症の発生状況)

腸管出血性大腸菌感染症患者 1名。

一宮保健所管内在住の 27才女性。6/8発病、6/13初診、6/21診定。

菌型は、O157、VT1(+)

腸管出血性大腸菌感染症病原体保有者 1名。

春日井保健所管内在住の 61才女性。6/22初診、6/27診定。

菌型は、O157、VT2(+)

(全数把握の4類感染症の発生状況)

急性ウイルス性肝炎患者 5名。

梅毒患者 1名。

梅雨の晴れ間の日差しをあびて、公園では紫陽花や花菖蒲が勢揃いしています。今日は夏至。日が長くて、仕事を済ませてもうこんな時間かと驚いたりする昨今です。いつも貴重な情報を有難うございます。6月前半のまとめをお送りします。

1. 名古屋市内：最高気温が夏日だったり梅雨寒だったりのせい、カゼ症候群で発熱を伴う上気道炎や咽頭炎が各地区で小流行中で、時には嘔吐や肺炎気管支炎を合併して入院を要する例が目立っています（名鉄病院宮津先生、城北病院渡辺先生、千種区今枝先生、三菱病院岩間先生、大同病院水野先生）。乳幼児や年長児のロタウイルスの下痢症やその他ウイルスによる感染性胃腸炎、キヤンピロバクターなどの細菌性の胃腸炎が散発しています（名鉄・宮津先生、千種区今枝先生、大同・水野先生）。マイコプラズマ肺炎とかRSウイルス感染症、仮性クループがまだ散発しています（名鉄・宮津先生、国立病院松下先生、中京病院柴田先生、大同・水野先生）。一方、ヘルパンギーナや咽頭結膜熱による発熱疾患の発生が地域的には始まっています。これら夏カゼ症候群の今後の発生状況や臨床像に注意したいと思います（城北・渡辺先生、国立・松下先生、三菱・岩間先生、大同・水野先生）。百日咳の報告を名鉄・宮津先生、城北・渡辺先生（入院例日立つ）から、大同・水野先生からはウイルス性の中枢神経系感染症が日立つ、国立・松下先生からは伝染性膿痂疹の報告をいただいています。
2. 尾張地区：犬山市武内先生からは水痘が散発し手足口病・ヘルパンギーナも散発中、ウイルス性胃腸炎がやや多い、津島市民病院片桐先生からは水痘とムンプスが流行中で、血尿を伴うサルモネラ腺炎（大腸菌 0157 類似症として）入院例あり、江南市昭和病院丸地先生からは水痘、ムンプス、溶連菌感染症（扁桃炎、腎炎、血尿で入院例あり）、ロタウイルスとアデノウイルス感染症がまだ続きEBウイルス感染症（肝障害＋発疹）入院例数名、春日井市民病院後藤先生からは肺炎による入院が目立つが感染症全体としては著しく減少、公立瀬戸陶生病院山口先生からは水痘、溶連菌感染症、ロタウイルス胃腸炎、RSウイルス感染症、クループ症候群など冬パターンの感染症が散発中で夏カゼの流行はまだ目立たない、常滑市民病院肥田先生からは水痘の散発と高熱が3-4日続く感冒症候群が流行中とのお手紙をいただきました。
3. 三河地区：豊田市竹内病院梶田先生からは水痘の流行が継続中でヘルパンギーナや手足口病はまだない、岡崎市民病院小児科からは特に目立つ感染症はない、知立市近藤先生からは溶連菌感染症、水痘、ヘルパンギーナがやや多く、3-4日高熱が続く感冒（嘔吐と頭痛あり）が流行中、刈谷市田和先生からは感染性胃腸炎が少し目立ち水痘、溶連菌感染症、手足口病が散発、有熱期間が1週間近くで咳嗽の強い夏カゼが多い、豊橋市宮澤先生からは手足口病、ヘルパンギーナが増加、ウイルス性胃腸炎がみられるとのお手紙でした。有難うございました。
4. 夏カゼ流行期が始まるうとしています。先生方の地区の状況をお知らせください。

（文責 磯村）